

### 在宅介護者との

### ふれあい事業

大旭支部(大垣茂支部長)では、令和3年度事業計画に基づき「在宅介護者とのふれあい事業」を行いました。

この事業は、平成20年度から28年度まで、介護者の参加を得て、会合による対話形式で行われてきました。が、介護者から、会合に出席する余裕が無い等との声が寄せられたため、平成29年度から、民生委員・児童委員が、各介護者宅を訪問するやり方に改め、現在に至っております。

今年度も、12月に大旭支部役員一同の「添え書き」を添えて、介護の必需品であるバスタオルを19戸に配布させていただきました。

### 添え書き

在宅介護者の皆様へ

笠間市社会福祉協議会 大旭支部役員一同  
寒気厳しき折、在宅介護者の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。気の抜けない

毎日かごと推察いたします。また、大旭支部の運営には深いご理解をいただき、感謝申し上げます。

さて、本年度も日頃のご苦勞を思い、バスタオルを贈らせていただくことといたしました。

介護の際に、お役に立てば幸いです。

長期にわたる看病や、落ち着きを戻しているとはいえ新型コロナウイルスへの対応等、ご苦勞も増しているかと思いますが、ご健康に留意されますようお願い申し上げます。

最後に、この事業については、民生委員・児童委員の多大なご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。



配布されたバスタオル

### 高齢者クラブ代表との

### 懇談会を開催

9月12日、旭崎新農村集落センターにおいて高齢者クラブ代表との懇談会が開催されました。懇談会は主催者の大垣茂支部長から、大旭支部事業について説明があり、その後8地区のクラブ代表者からご意見を伺いました。

### 1 社協大旭支部下半期行事の推進について

下半期の主な行事としては「在宅介護事業」「グラウンドゴルフ大会」「地区三世交代交流会」「地区配食事業」「80歳以上の方々のふれあい食事会」等ですが、事業実施については、コロナウイルス感染状況を見ながら対応することとしました。

### 2 グラウンドゴルフ大会

例年、高齢者クラブ合同での開催でしたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年に引き続き、各クラブ個別開催とすることとしました。

### 3 クラブの運営状況

運営状況について意見はありませんでしたが、雇用年齢引き上げなど高齢者の雇用機会が増えたためか、年々、クラブへの新規加入が減少し、将来、クラブ維持が難しくなるのではないかと、各クラブから意見がありました。

### 4 助成金の配布

高齢者クラブ助成金及びグラウンドゴルフ大会の開催助成金を予算に基づき支給いたしました。今年度の懇談会は、緊急事態宣言および支部活動自粛要請の中での開催となり、十分な意見交換の時間が取れなかったことは残念でしたが、貴重な意見をいただくことができました。

### あ と が き

出席されたクラブ代表者 (敬称略)  
○ときわ会 巨理 武  
○矢野下寿会 荻津正男  
○三友会 添田義弘  
○旭崎新生活 小野 武  
○若狭山会 鈴木勝義  
○旭台睦会 蘭部 勝  
○ふれあいクラブ 青木 清  
○旭平ひので会 小倉秀男

「太子堂」の取材につきましては、地域の方々から太子堂の古い歴史、太子堂奉賛会や高齢者クラブの活動状況を丁寧に説明していただきました。ありがとうございました。

◎おわびと訂正	
おおあさひ支部報第124号に掲載の、令和2年度決算報告書に誤りがありました。お詫びを申し上げます。	
「支出の部」児童育成費	決算額(誤) 73,279円
(正)	51,700円
予算比(誤)△76,721円	(正)△98,300円
「支出の部」在宅福祉活動費	決算額(誤) 246,571円
(正)	147,232円
予算比(誤)△133,429円	(正)△232,768円

## 大沢地区『太子堂』を訪ねて

### ―太子堂奉賛会・地区高齢者クラブ―

『太子堂』は、平町大沢上地区にあります。

「大沢」の地名は、昔、蘆の生い茂る大湿原地帯であったことに由来しています。

江戸時代中期から後期に、この湿地帯を開墾し、水田や畑作地に開拓したのが、遠い北陸から来た人々でした。村人たちは、この地で農作業に精を出しながら、お互いに相談し助け合いの組織を作ろうと、太子講を組織し太子堂を建立しました。祀られているのが聖徳太子です。

現在、太子堂奉賛会(中村誠会長)が管理運営を行っています。太子堂には二つの大きな行事があります。

- 歳旦祭(12/31、1/1)
- 祭礼の日(旧暦2/22)

太子堂奉賛会は、令和3年11月21日(日)コロナ禍で延期されていた聖徳太子の

命日を祀る祭礼を、唯信寺(天田町在寺)住職の供養御経により執り行いました。

祭礼の終了後に、太子堂の広場で大沢地区高齢者クラブ連合会(巨理武会長)が、スポーツ大会を開催しました。

大会は、ときわ会と大沢長生会の会員に山口伸樹笠間市長の参加を得て、65人がクロッケー・ペタンク・輪投げの各競技で盛り上がりました。

大沢地区の人々は、昔からこの太子堂を拠点にして、地域コミュニティを形成してきました。

今も、太子堂奉賛会・ときわ会と大沢長生会の方々、友部第二小学校の校外学習支援・境内の清掃(毎月28日)・スポーツ活動を定期的にしています。

古い歴史を持ち、大切に守られてきた太子堂は、これから末永く人々の心の拠り所となっていくと信じます。

地域とともにある学校づくり(笠間市立友部第二小学校)	2ページ
配食と見守りの活動も(配食活動再開)	3ページ
敬老の日をお便りと手作りのポーチで祝う(女性部が高齢者を訪問)	
在宅介護者ふれあい事業 高齢者クラブ代表懇談会 訂正・あしがき	4ページ

笠間市社会福祉協議会大旭支部  
発行 大旭支部長 大垣 茂  
編集 大旭支部広報委員会  
発行日 令和4年1月20日  
印刷 有限会社大塩企画

# おおあさひ支部報



# 地域とともにある学校づくり

## 笠間市立友部第二小学校

### 地域との連携

「おはようございます！」「さようならまた明日！」今日も友部二小の子どもたちは元気に学校に登校し、生活しています。これを支えているのが地域の方々の力です。

#### 1 児童の安全管理

① 登下校時の見守り  
今年度、大きなけがにつながる交通事故等はありませんでした。これもひとえに毎日登下校時に立哨を行ってくださる交通安全ボランティアの方々のおかげだと考えます。日々の継続が児童の安全を守っています。

#### ② 車止めの設置

今年の8月に本校体育館脇交差点に「車止め」が6本設置されました。この交差点は毎日全校生徒の6割が利用しています。大変込み合い、危険が予想されるため、数年前から区長会を中心に車止めの設置を市に要望していました。地

域の方々の熱意が形となって日々の安全を支えています。

#### ③ 通路の段差補修工事等

メタセコイヤの根が原因で生じたコンクリートの通路の段差をなくす作業を学校運営協議会委員の方々が行ってくださいました。また、雨で流れ出した東門付近歩道の土砂も撤去していただきました。

#### 2 学校行事への協力

区長会、学校支援ボランティア、そして防犯連絡員の方々が運動会前に除草を行っていただきました。駐車場に使用する敷地がともきれいなになり、気持ちよく運動会を迎えることができました。また、運動会当日には駐車場の防犯、安全支援等を行ってくださり安心して運動会を運営することができました。

このように、学校に関わり支えてくださっている団体はたくさんあります。社協大旭

支部、友部二小学区区長会、防犯連絡員協議会（友部第二分会）学校支援ボランティア、学校安全ボランティア等。今後は、これらの団体の方々と今年度から発足した学校運営協議会とがしっかりと連携し、より地域に根ざした学校づくりを目指していくことが大切だと考えています。

今後とも、地域の方々のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。  
\*11月より学校だよりを地域に回覧しています。学校の様子をご覧いただき、忌憚のないご意見、ご感想をお願いいたします。

### 第42回運動会

10月20日（水）晴天の下、運動会を実施しました。コロナ禍の中、感染防止に十分務めながら、今年度は午前の部（1、3、5年）午後の部（2、4、6年）の二分散で開催しました。5、6年生はどちらにも参加し、競技を行わない方で係活動に取り組みました。係



「よいしょ、よいしょ、ひっばれ」



「おどって玉入れ」



「かろやかに走れGOGO！親子リレー」



「ほうきの達人」

が初めてとなる5年生を6年生がサポートすることでスムーズな運営につながりました。各学年とも、個人、団体、特

別種目と限られた種目数ではありましたが、学級の一体感を味わいながら楽しい運動会にすることができました。



たきあがったごはん

### 届け！児童の思い 配食と見守りの活動も

#### 女性部にじの会

美味しく食べていただきたいを基本に、女性部にじの会（渡辺米子会長）は、毎月第一火曜日・第三火曜日に、ひとり暮らしの高齢者宅に手作りのお弁当を届けています。

市地域福祉センターともべの調理室を拠点にして、早朝から仕込んだメニューは、栄養面とカロリーなど、高齢者に配慮した銀杏のごはん、さんまのタツタ揚げ、切り干し大根、だし巻きたまご、小松菜の正油和え、みかんなど6種類のおかずが入ったお弁当43食が用意され、午前11時には



二小児童のめりえ

会員が心を込めた美味しいお弁当が出来上がりました。

お弁当の包み紙は「お体に気を付けて」と友部第二小学校の児童が、毎回お弁当の包み紙に、ぬりえと寄せ書きを添えており、今回は6年生が担当し、児童の高齢者に対する思いも届けています。

配食は、にじの会々員が自ら担当し、それぞれの担当地区に向かい、ひと声かけて生活の様子や健康状態を確認するなど、配食だけでなく見守り活動も行っています。

渡辺会長は「メニューを考へることは、たいへんだけれども、利用者さんからおいしかったよの声に、次回はもっとおいしいものをと、意欲が

### 敬老の日をお便りと 手作りポーチで祝う

#### 女性部が高齢者を訪問

当支部女性部（渡辺米子部長）の運営するサロン活動は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止が続いています。

このため昨年の敬老の日にあわせ、「ふれあいサロンなごみの会員さん（47人）」を訪問して絆をふかめました。

女性部の方々は、会員さんのためにお便りと手作りのミニポーチを、お祝いの品としました。（訪問の際は、民生委員・児童委員さんと支部役員

の協力を受けました）  
また、サロン開催日に送迎の支援を受けている「サービ

お祝いの品を65セット提供し協力のお礼としました。

#### ○会員さんの声から

「新型コロナのため気持ちも湿りがちになっていた、来てくれてありがとう！友達と会えないので寂しい、なごみの再開が待ち遠しい。ポーチは、診察券入れに便利ネ」など、たくさんの方が寄せられているそうです。



ミニポーチとお便り

○会員さんの声にこたえて女性部の渡辺米子さんは「新型コロナウイルス感染の状況を見て、サロンを再開したい」と話しておりました。

### ◆お便り全文を掲載します ふれあいサロンなごみ

皆さん おひさしぶりです。コロナの終息が見えて来ませんが、敬老の日が近づいて参

りました。今年も皆さんと楽しくお祝いができず残念です。今年もささやかなプレゼントをご用意しました！  
ミニポーチはバックにつけたり身につけてご使用ください。  
社会福祉協議会からはティッシュとマスクをいただきましたので一緒にお届けします。  
皆さんのご健康をお祈りいたします。  
一日も早くサロンでお会いできますように、より一層の注意をしながら頑張りましょう！

代表 渡辺米子



こんな風に使ってください

バックやポケットの中に入れて安心（安全）ですよ！

ミニポーチ利用法のイラスト